

令和7年3月7日

保護者 様

倉敷市立帯江小学校

校 長 木谷 秀史

学校評価アンケートの結果について

早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察いたします。平素から、本校の教育活動推進に対しましてご理解とご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

本年度も、学校教育目標「進んで考え 心豊かに たくましく生きる児童の育成」の実現に向けて、保護者の皆様や地域の皆様のご協力やご支援をいただきながら、教職員で創意工夫をし、学校生活全般を通して子どもたちの教育に取り組んでまいりました。

また、本年1月には1年間を振り返るに当たり、学校評価アンケートを実施しましたところ、お忙しい中をご協力いただきありがとうございますございました。今年度の取組に対する皆様からの評価を参考にさせていただきながら、来年度の帯江小学校の教育計画を立て、教育活動や学習環境を一層よりよいものにしていきたいと考えております。

なお、ご報告として、考察と別紙にて、アンケートの質問項目についての集計結果を載せていますのでご覧ください。集計結果・考察は、本校ホームページからもご覧いただけます。（“お知らせ”のページに掲載します。）

帯江小学校ホームページ：<http://www.kurashiki-oky.ed.jp/obie-e/index.html>

帯江小学校

で検索

学校評価考察

保護者アンケートから

- すべての項目で、肯定的な評価が多数を占めており、今年度の学校運営について一定の評価を得られたことをありがたく感じている。
- 昨年度の評価と比較すると10項目は微増、5項目は微減となり、変化は僅かであるが好転している。
- 「知・徳・体」の「知」に関する項目では、3「子どもは、学年の目安に沿った家庭学習の習慣ができています。」の肯定的回答が昨年度より10ポイント向上している。依然27%のご家庭で不安に感じられている状態なので、引き続き学校での学習と家庭学習を関連付けながら取り組んでいく必要がある。また、4「子どもは、本（図鑑や学習漫画も含む）が好きで、よく本に親しんでいる。」の項目では、肯定的回答が5ポイント向上した。53%とまだまだ高くはないが、学校での図書館教育や読書ボランティアによる読み聞かせなどを通して、学校・家庭・地域が連携して、家庭での読書習慣につながるよう取組を継続していきたい。
- 「徳」に関する項目では、今年度から5「子どもは、自分の夢や目標をもっている。」の評価内容を入れている。肯定的回答が62%となり、まだまだ保護者から見て、夢や目標がもてていない児童が多くいる現状である。岡山県が進めている「夢育」を教育課程の中で確実に実施していく必要がある。
- 「体」に関する項目では、概ね高評価をいただいている。しかし、心や体の健康や食育など個人的な課題や不安も考慮しながら、今後も一人一人に合わせた対応を考えていく必要がある。
- 19「学校は、懇談や学校通信、学年だより等で学校の様子を知らせようとしている。」の項目の評価が、さらに向上している。学校を訪れることが少ない保護者へできるだけ学校の様子を伝えようと、学校通信や学年だよりを発行している。帯江小学校の創立150周年の年に合わせて、帯江小学校や帯江の地域に関する歴史などお伝えし、貴重な情報源として楽しんでいただけていることに、ありがたく感じている。懇談も年間3回実施し、児童の具体的な頑張りを伝えられるよう心掛けている。
- 17「学校は、在校中や登下校時、子どもの安全指導に努めている。」の項目では、14%のご家庭で不安に思われている。帯江学区は交通量の多く道幅が狭いので、地域の関係団体や警察と連携し、定期的な交通安全への啓発活動を今後も続ける必要がある。
- 保護者からのご意見では、学校への励ましや今後の改善を望む声など多数いただき、ありがとうございました。今年度の取組に対する評価やご意見を参考にさせていただきながら、来年度の教育活動や学習環境を一層よりよいものにしていきたいと考えています。